

「あらためて学ぶ」

中分 秀美

(徳島県:公益社団法人徳島県看護協会訪問看護ステーション阿南)

私は、訪問看護師となって5年目です。ケアを実施するなか、病院と在宅で必要な知識や技術の違いを感じ、知識をより深めるために資格習得を考えていたところ、上司より在宅ケア認定看護師研修の受講を勧められました。

コロナ禍であり5月の対面授業は延期となり、現在はeラーニングとオンラインで授業が行われています。eラーニングで学んでいると、自分の知識不足から理解に時間を要し、思うように前に進まなくなることもあります。早く他の研修生とも対面して現状を報告し、互いに励ましあいながら取り組めるようになればいいと思います。

また、看護過程の展開を学ぶなか、日々の業務では今までの経験をもとに予測し、実施するケアのみを考えていることを改めて認識しました。エビデンスに基づいた判断を行い、アセスメントや問題点を明確にして自分の考えを言語化することの難しさを実感しています。

今回の研修を受けるにあたり、学業を優先できるよう時間調整をしてくれている上司やスタッフに感謝しながら、学んだ専門性の高い知識と技術を看護実践にいかせるよう、1年間頑張ろうと思います。



訪問看護ステーションのスタッフと共に(1列目右:中分 秀美研修生)